

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会

構想部会ニュース

2022年1月発行

このニュースは、東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会・構想部会の内容について、地域の皆様にご報告するとともに、活動状況について共有していただくために発行しております。

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想(以下、まちづくり構想)とは

東淀川区では事業者・行政等の支援・協働のもと、地域が主体となり、地域の課題等について共有した上で、10年後・20年後の「暮らし方」や「まちの姿」を描き、まちづくりの基本理念・目標等を定めるため、平成28年1月に地域・事業者・行政で構成される東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会を設立しました。

議論を積み重ね、平成30年3月に「東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想」が策定されました。まちづくりの基本理念は以下の通りです。(裏面にまちづくり構想全体を掲載しております。)

まちづくりの基本理念(まちの将来像)「みんなで つながる ふだん暮らしのまち」

まちづくり構想策定までの流れ

H27年度

- ・協議会の設立



協議会参画地域

H28年度

- ・まちづくり構想素案の策定



構想部会の様子

H29年度

- ・まちづくり構想の策定



広報ひがしよどがわでの紹介

まちづくり構想策定からの流れ

まちづくり構想を実現するため個別取組みの行動計画である「アクションプラン」の策定に向けて、構想部会での議論や地域内でのワークショップ、他地域の活動の見学などを行い検討を進めています。

H30年度



地域内でのワークショップ

R元年度



他地域への見学

R2年度



構想部会の様子

R3年度



構想部会の様子